

2021年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験
2021年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験
「食マネジメント学部」

【文芸】

学科	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
食マネジメント学科	3	2	2
計	3	2	2

【スポーツ】

学科	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
食マネジメント学科	15	15	12
計	15	15	12

【選考講評】

1. 実施状況

食マネジメント学部は、「文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験」「スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験」の試験において、個人面接に併せて口頭試問を実施した。

2. 試験内容

食マネジメント学部の口頭試問は通常の面接の中に組み込んで行うこととし、以下の2題を課した。(1) 本学部の学びを構成する3領域がそれぞれどのような領域か。(2) 入学後、本学部でどのような学習活動を展開したいか。その学習主題は本学部を構成する学びの3領域のうち、どのような領域に特に関連が深いか。

3. 出題意図

食マネジメント学部での学びに対する意欲の確認および、本学部での学びに必要なとされる基礎的な知識と素養を備えていることを確認すること。

4. 評価ポイント

上記(1)では食マネジメント学部の3領域の名称とその基礎となる社会科学、人文科学、自然科学の組み合わせが正しいことを最低限の評価要件として、経済学、地理学、認知科学などの下位領域まで正しく述べられること、さらには各界領域の内容を正しく述べられることを以てより高い評価とする。上記(2)では受験者の選択した学習課題と領域の組み合わせの適合度の高さを評価基準とした。適合度は原則として既存研究の蓄積によって判断

した。ただし受験者が独創的な学習を志している場合にはこの限りではなく、解答の領域と学習主題との関連が合理的に説明されれば評価するものとした。

5. 解答状況

3領域を分けるコース制を採った学部でないことは総じて正しく理解されていた。各領域について得手不得手はあるものの、幅広く学ぶ意欲についても概ね評価できる水準であった。3領域と既存の学問領域との関係については、微細な所では誤解や、曖昧さを残した例も散見されたが、大きく見誤った受験者はすくなかった。一方で、きちんとした解答のできるものとそれができないものとの間に顕著な差が認められたことも付記しておきたい。

6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

食マネジメント学部は特徴ある学びの体系を持つ学部ですので、その特徴を自らの抱く将来像や問題関心と高等学校等での学びに引き付けて理解し、それを伝えられるように努めてください。

7. 進路指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

食マネジメント学部は特徴的な学びの体系を持つ学部ですので、その部分を十分に理解してください。大学や学部によってアドミッションポリシーや入試の目的は同じではありません。どの大学、どの学部でも通用するであろう知識やスキルの指導はもちろんですが、学部独自のポリシーを踏まえた受け答えができるかが重要です。また、やり取りの中で「部活ができれば学部はどこでも良い」「学業との両立は考えていない」というような発言も認められました。これではそもそも当該入試の目指すところを否定していることとなります。基本的な部分についても十分ご指導ください。

以上